



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 安達 紀史

令和8年4月20日 No.1

春、新しい学びの始まり

校長 安達 紀史

やわらかな春風に包まれ、希望の喜びに満ちた新年度を迎えました。お子様の御入学、御進級を心よりお祝い申し上げます。本年度は、新1年生 149 名を迎え、全校生徒 465 名で令和8年度がスタートしました。

さて、令和8年度の府中第五中学校は、前年度に取り組んできた生徒の主体性を引き出す教育活動や「時間」の見直し、魅力ある授業の展開をさらに充実・発展させてまいります。あわせて、東京都中学校人権尊重教育推進校の指定を受け、「誰もが」「安心して」「自分の良さを発揮できる」学校づくりを学校教育全体の基盤に据え、教育活動を推進していきます。

本校は、校訓「自己発見」のもと、長い歴史の中で多くの卒業生を社会へ送り出してきました。今年で64年目を迎えますが、その精神は、これからも変わることなく受け継がれていきます。一方で、社会の変化や生徒を取り巻く環境が大きく変わる中、教育の在り方や指導の方法については、時代の要請に応じて不断に見直し、改善していくことが求められています。

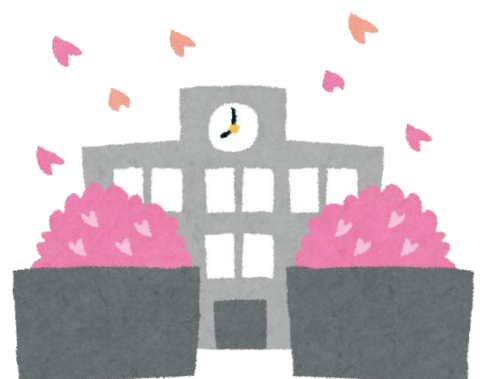
本校が目指す教育の理念を実現していくためには、「知・徳・体」に関わる取組を教育活動全体の中に明確に位置付け、それらを相互に関連付けながら、バランスよく育てていくことが重要です。そのためには、学びを教室内の活動にとどめることなく、学校生活全体、さらには実生活や実社会とのつながりの中で捉えていく必要があります。

「学び」とは、教室での「読む・書く・聞く」といった活動のみを指すものではありません。学習内容が日常生活や社会とどのようにつながっているのかを実感することで、生徒は当事者意識をもって学びに向かい、主体的に深めていくことができます。その積み重ねが、自ら考え、判断し、行動する力となり、将来、自分の人生を切り拓いていく力へとつながっていくと考えています。

学習と体験が相互に関わり合う教育活動を通してこそ、生徒の豊かな発想や感性、思考力・判断力、そして相手を尊重しながら自分の考えを伝えるコミュニケーション能力の育成が期待できます。

本年度は、これまで学校全体で積み重ねてきた教育実践をさらに推進するとともに、その成果と課題を丁寧に検証しながら、教職員一同、共通理解のもとで教育活動に取り組んでまいります。

保護者の皆様におかれましては、本校の教育方針や取組の趣旨をご理解いただき、家庭と学校が連携しながら生徒の成長を支えていくことができますよう、教育活動への温かい御理解と御協力を心よりお願い申し上げます。



4月の生徒たちの様子

春のやわらかな日差しのもと、4月7日に入学式を行いました。新入生は少し緊張した表情を浮かべながらも、呼名に元気よく返事をし、新たな学校生活への期待が感じられる一日となりました。在校生も温かい拍手で新しい仲間を迎え、学校全体が希望に包まれた式となりました。

新学期が始まり、各学級では日々の授業が本格化しています。友達の意見に耳を傾けながら学びを深める姿や、教師の問いかけに進んで手を挙げる姿が見られ、落ち着いた雰囲気の中で意欲的に学習に取り組んでいます。新しい教科や活動にも前向きに挑戦する子どもたちの姿が印象的です。

また、委員会活動もスタートしました。学校をよりよくしようと、それぞれの委員会で話し合いを重ね、活動内容を工夫しています。高学年が中心となって下級生をリードする姿からは、責任感と成長が感じられます。



セーフティー教室

4月17日(金)、本校アリーナにて全校生徒を対象にセーフティー教室を実施しました。当日は、府中警察署生活安全課の方を講師にお迎えし、「SNS利用に伴う危険防止と安全な情報発信」をテーマにご講演いただきました。インターネットやSNSは便利な反面、使い方を誤るとトラブルや犯罪につながる危険があることを、具体的な事例を通して分かりやすく教えていただきました。生徒たちは、善悪を正しく判断する力や、危険を予測して回避することの大切さについて真剣に考える姿が見られました。今回の学びを、今後の生活に生かしていくことを期待しています。



五中生の活躍

【英検】

実用英語技能検定 満点賞 2名